

# 子供とお年寄りを守ろう 秋の全国交通安全運動

今年も9月21日から30日までの10日間、秋の全国交通安全運動が繰り広げられます。

今年に入ってから交通事故で亡くなった方の数は、昨年の同時期に比べて減少しているものの、事故の発生件数および負傷者の数は逆に増加しています。

また、亡くなった方は、相変わらず子供と老人が多く、原動機付き自転車の事故による死者も含めて道路交通の上で、「弱い立場」にある人々の犠牲が目立っています。

こうした死亡事故の原因をドライバーの側から見ると、「スピード違反」をトップに「わき見運転」「酒酔い運転」と続き、この傾向はここ数年まったく変わっていません。

このようなスピードへの慣れや、ちよつとした油断にも注意し、ドライバーとしての基本的事柄を実践してこそ、「事故のない明るい社会」への第一歩といえるのです。

このような背景から今年も、▼子供と老人の事故防止

▼自転車および原動機付き自転車の安全利用の促進  
▼安全運転の確保とシートベルト着用の推進  
▼夜間における交通事故防止および円が投ぜられました。



(補修中の屋台後幕「虎」)

## 八朔祭 屋台後幕「虎」復元される

八朔祭の屋台後幕「虎」(下町所有)の補修がおわり、八朔祭には4年ぶりに地元で展示されました。この後幕の補修は昭和48年からの早馬町後幕補修の後、昭和50年から4年の歳月をかけて多摩美術大学教授・山辺知行先生ほか共立女子大学の先生など多くの関係者の手によって、市費約3百万

円が投ぜられました。完成した後幕は、「東陽画狂人北斎筆」とあざやかにぬいとりがあり、北斎40才頃の作品といわれ寛政から文化あたり、約180年くらい前のものといわれ、当時としては、貴重なラシヤやガラスがつかわれ、刺繍としての美術的価値も高く評価されており、当市の文化財として貴重なものです。今後、市文化会館2階の図書館内の展示ケースに展示され、市民に公開されます。

// ふるさとの文化財を大切に //



(横断歩道は手を上げて)

び飲酒運転の絶滅の四項目が重点テーマとなっています。市民総ぐるみでこの運動に参加し、「事故のない明るい社会」づくりにご協力ください。

**交差点では一時停止を**

事故の約三割は、交差点での出会いがしらに起きています。交差点では、スピードを落とすか、いったん停止して左右をよく確かめてから、渡りましょう。

**法定速度を守ろう**

原動機付き自転車は、時速三十キロ以上で走ってはいけません。スピードの出し過ぎは、急ブレーキの原因となり、転倒する危険性が伴います。また、急発進も事故のもとです。

**ヘルメットをかぶろう**

## 造林用苗木のあつせん

市森林組合では、来春の造林用苗木をあつせんします。希望者はお申込みください。

**申込期限 11月25日**

なお、期日過ぎでも苗木は受け付けますが、補助金交付が来年度になる場合があります。

◎注意事項

新植地が用材林伐採地以外で植付本数が約300本、面積が10アール(1反歩)以上で、54年中に造林計画書を知事に提出しているものは造林補助金の対象となりますので、苗木申込みの際は植栽予定地の字、地番、及び現況(雑木何年生伐採、原野用材伐採跡地等)を調べ、印鑑を持参してください。造林計画書は森林組合で作成します。

ただし、地目が畑になっている場所に植栽する場合は、農業委員会が農地転用の手続を必要とします。

苗木代金	す	ぎ	65円	65円
ひのき	あ	か	22円	22円
あかまつ	か	ら	25円	25円
からまつ				